

長崎大学 環境科学部



君と共に未来を創る 環境科学部

Faculty of Environmental Science NAGASAKI UNIVERSITY

環境科学部
ホームページはこちら





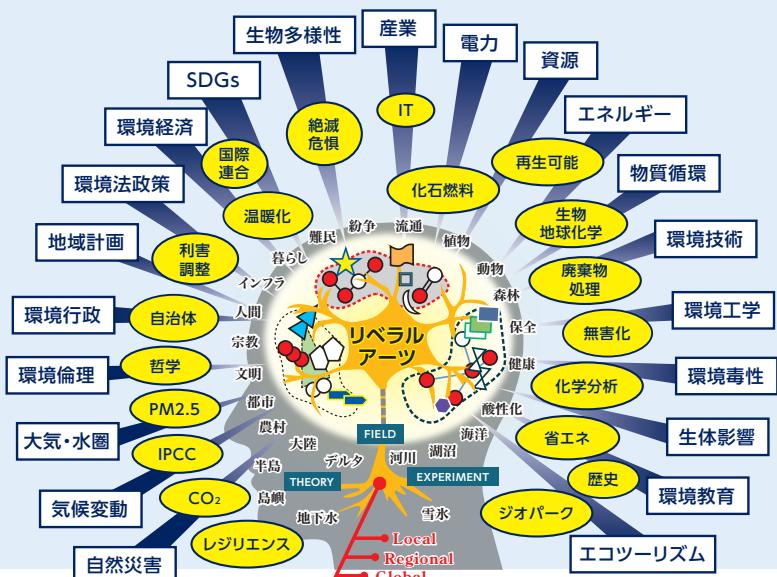
自然と人間の調和的共生を考える教育

気候変動、生物多様性の低下、森林喪失、激甚災害の増加、消滅する自治体、深刻化する獣害・・・私たちは環境危機の世紀を迎えています。
本学部は**3**つの特色ある教育を通し、この複雑な危機に立ち向かう俯瞰的視野と実践マインドを持つ人材を育成します。

1 広い視野を養う 文理融合の環境教育

環境問題に関わる学問は、化学、生物学などの自然科学から法律、経済、倫理学などの人文・社会科学まで多岐にわたります。本学部では、多分野にわたる科目を開講してカリキュラムを充実させ、幅広い知識が修得できます。

“文理融合脳”を養って環境を理解しよう!



2 自然豊かな 長崎を舞台とした フィールド教育

長崎は、海、山、希少野生生物などの多様な環境資源に恵まれています。本学部では、それらを活かしたフィールドワークの実践により、環境の観察眼と調査力を養います。



浦上川での
生物多様性調査



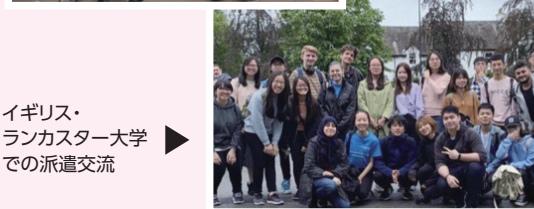
高島海水浴場
におけるサンゴの
健全度調査

3 地球規模での 持続可能な社会を考える 国際人を育成する教育

環境問題に国境はなく、さまざまな国の人々が協力しあうことが不可欠です。本学部では、国際的なキャリアを有する教員陣を配し、国際交流を実践する機会を数多く提供しています。



タイ・マヒドン大学
での派遣交流



イギリス・
ランカスター大学
での派遣交流

サークルでの
環境活動も活発です!



エコマジック

主に長大祭(学園祭)が活躍の場です。店舗に食器を貸し出し、洗浄・再貸し出しをすることで、使い捨て容器のゴミを減らす活動をしています。ゴミの分別指導や生ゴミの堆肥化も行っています。



ビオトップパレット

長崎大学内のビオトップの管理や、鹿児島県出水市ツル渡来地への観察合宿、長崎市内のホテル観察、ヘビ調査、バードウォッチングなど多様な生態系の保全と観察を行っています。

学部独自の国際環境研修

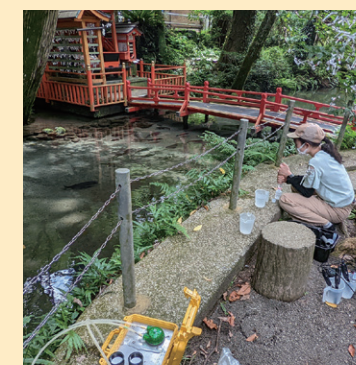
環境科学部オリジナルのプログラムとして、海外の大学生と一緒に、英語による座学、フィールド演習、環境施設見学などを含む国際環境研修を行っています。夏休みには海外協定大学から学生を受け入れて、日本や長崎の環境問題を一緒に考えます。春休みには環境科学部生が海外協定校を訪れ、その地域に固有の環境問題について学びます。海外協定校は、スウェーデン王国 Lund 大学、英国ランカスター大学、米国ハムリン大学、タイ王国マヒドン大学など、12校です。



PICK
UP!

授業・研究のひとこま

環境フィールド演習IIは、1年生が全員履修する必修科目です。廃棄物焼却施設、下水処理場、太陽光発電設備など、長崎県内の環境関連施設を巡る演習です。ただ見学に行くのではなく、事前学習として各施設に関して深く理解する機会も設けられています。施設見学は5月に行われるので、入学して最初の環境科学部らしい野外実習といえます。



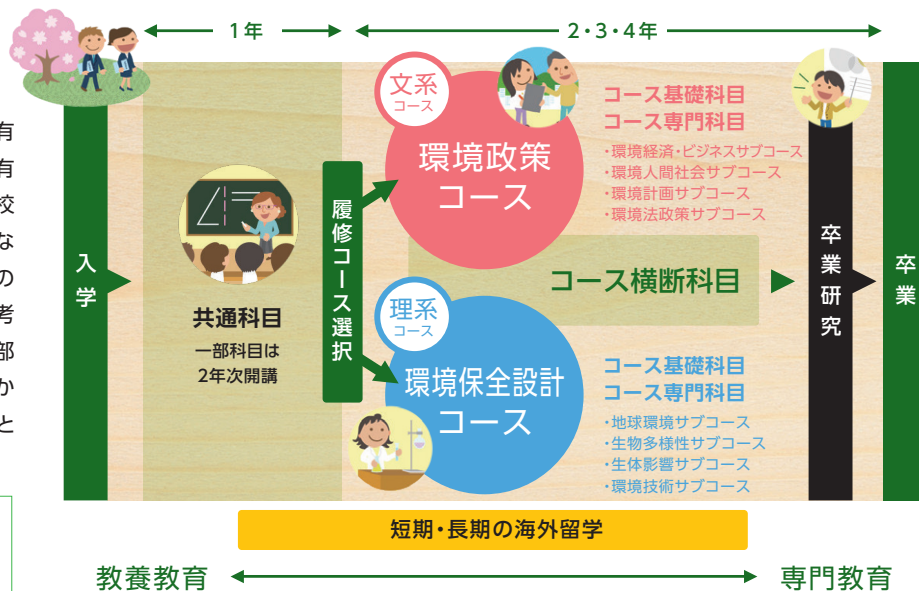
環境問題は現場で起きており、現地でのサンプル採取やインタビューなどの現地調査は重要なデータをもたらしてくれます。左の写真は、水環境科学研究室が行っている、鹿児島・唐船峡湧水での採水調査の様子です。この水サンプルを実験室に持ち帰って分析し、その水の歴史を紐解く研究をしています。環境科学部では、国内外の様々なフィールドを対象に、学生とともに幅広く調査研究を行っています。

入試・カリキュラムの特徴

環境科学部の教育コースには、環境政策コース(文系)および環境保全設計コース(理系)の2つがあります。
早期卒業制度により、成績優秀な学生は3年で卒業できます。

文系受験・ 理系受験を選べます

環境科学部の入試は、文系科目が有利な配点のA受験と理系科目が有利な配点のB受験があります。高校での履修コースに関わりなく得意な方を選択してください。一般選抜の受験者は共通テストの成績も参考にすると良いでしょう。これは本学部が環境問題に対処するには文理からの多角的なアプローチが必要と考えているためです。



詳しい入試情報は
こちら! →



入学後の文系と理系の 選択が可能

入学後の1年間、共通科目を学んだ後、2年進級時に環境政策コース(文系)と環境保全設計コース(理系)に分かれます。コース選択は、入試時の受験方法と関係なく選ぶことができます。

コース選択後も文理相互の 科目履修が可能

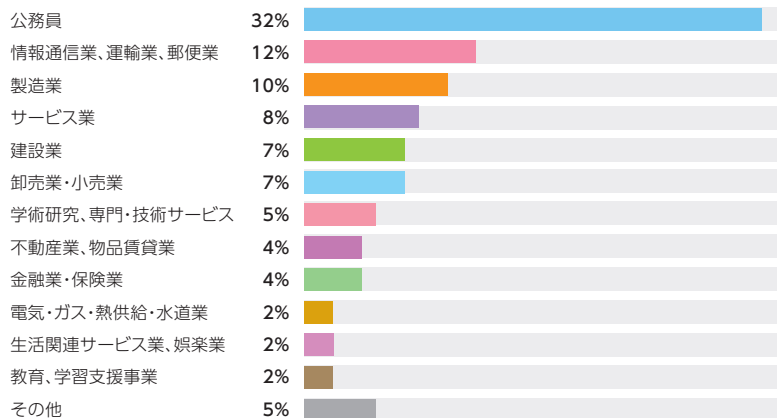
コース選択後、他コースの科目も履修できます(コース横断科目)。

CAREER OPTIONS

卒業後の進路

面接指導やエントリーシート添削など手厚い就職支援をおこなっており、高い進路内定率(令和4年度は95.2%)を誇ります。
環境関係の企業はもちろん、公務員の比率が高いのも特徴です。

就職状況 令和4年度卒



環境科学部では、所定の授業科目の単位を修得すれば、社会調査士、環境再生医(初級)、自然再生士補、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得できます。

就職・進学先の一例 過去5年度

- 環境系
 - 九州電力(株)
 - 西部ガス(株)
 - 協和機電工業(株)
 - 西部環境調査(株)
 - メタウォーター(株)
 - 日鉄環境エネルギーソリューション(株)
 - (株)建設技術研究所
 - J&T環境(株)
 - 独立行政法人海洋研究開発機構
 - 独立行政法人環境再生保全機構
 - 中外テクノス(株) など
- その他
 - (株)博報堂プロダクツ
 - ライオン(株)
 - 大成建設(株)
 - リコージャパン(株)
 - 大塚製薬(株)
 - NTT西日本
 - JR九州
 - (株)福岡銀行
 - 花王プロフェッショナル・サービス(株) など
- 公務員
 - 長崎市役所
 - 福岡市役所
 - 北九州市役所
 - 長崎県庁
 - 佐賀県庁
 - 福岡県庁
 - 東京都庁
 - 内閣府
 - 林野庁
 - 財務省
 - 経済産業省
 - 長崎地方検察庁 など
- 大学院進学
 - 長崎大学大学院
 - 九州大学大学院
 - 京都大学大学院
 - 名古屋大学大学院
 - 東京工業大学大学院
 - 筑波大学大学院
 - 北海道大学大学院
 - オレゴン大学大学院 など

卒業生と在学生の声

01 長浦 善之

株式会社ハイドロ総合技術研究所
環境グループ
環境保全設計コース 平成25年度卒
(博士前期課程 平成27年度修了)



私が現在勤めている株式会社ハイドロ総合技術研究所では、国内外の社会インフラ、防災、環境分野における数値解析やシステム構築等を行っています。例えば河川の氾濫解析結果などはハザードマップとして市町村で公開されたりするので、この仕事は皆さんの生活を支える重要な役割を担っています。仕事を進める際には多種で膨大なデータを取り扱うことが多く、専門分野はもちろんですが、幅広い知識と考

えが必要となります。環境科学部では、文理融合型の学部特性上様々な分野について学ぶことができたので、仕事を行う際には学生の頃の経験が活きていると日々実感しております。環境科学部での経験は有意義なものであり、社会の中で十分に力を発揮できるのではないかと思います。是非たくさんのことを学んで、自分の目標や夢に向かって、充実した大学生活を送ってください。

02 橋本 歩実

長崎まちづくり部まちなか事業推進室
環境政策コース 令和1年度卒



私は、幅広く、様々な経験ができたので、環境科学部に行って良かったと思っています。大気や水質のようなthe理系!ということから、経済学、哲学、観光などのthe文系のどちらも学びました。現在、私は長崎市役所に勤めていますが、大学時代に得た長崎に関する知識や人脈が仕事につながるがあるので、地元で就職するうえでも良かったです。また環境科学部に在学中、交換留学などの国際交流ができたのも本当に貴

重な経験でした。タイや台湾の大学に留学したり、逆に留学生を長崎で案内したり、とても楽しかったです!同世代の彼らに刺激を受けたり、卒業した今でも彼らと連絡を取り合っていて、自分の生活や思考の幅を広げるきっかけになりました。学部の勉強だけに時間を縛られることもなく、アルバイトやサークル、途中からは公務員試験に時間をあてることもできました。大学時代に自由に、様々な経験をしたいみなさんにおすすめです!

03 瀬崎 陽太

博士前期課程2年
水産・環境科学総合研究科 環境科学専攻
福岡県出身



環境科学部では、多彩なカリキュラムが用意されています。1年次のあいだは、同級生のみんなと同じ講義を受けながら、教養に磨きかける時間を過ごします。2年次になると、文系・理系のコースに分かれて、深い専門知識の習得に励みます。研究室に配属される3年次以降は、これまでの学びを糧に、卒業論文の完成を目指します。環境科学という領域は、法律、経済、都市計画、生態系保全、気象、土壌のように多くの専門分野から構成されています。諸先生がたは各方

面の専門家であり、それぞれの立場から、問題解決の手がかりを与えてくださいます。これこそが、環境科学部の素晴らしいところだと実感しています。みなさんのなかには、環境問題に関心があっても、何をどうすればよいのかかわらずに迷っている人がいるかもしれません。ここに入ると、やりたい何かがきつと見つかるはず。持続可能な社会を実現するため、長崎大学環境科学部で学んでみませんか。

04 吉村 優花

4年
環境政策コース
福岡県出身



環境科学部の一番の魅力は文理融合である点です。環境という理系のイメージが強いかもしれませんが、授業では、環境問題の原因となる人間社会の仕組みについても様々な角度から幅広く学べます。それまで存在を知らなくても、学ぶ機会を得たことで関心が湧いてくる分野もあり、時間をかけて進路選択ができることは魅力です。私は高校では理系で、入学時は環境保全設計コースに進もうと考えていました。しかし講義を受ける中で、環境社会学をはじめ環境問

題を引き起こす人間社会の仕組みを考える分野に関心を持つようになり、環境政策コースに進みました。フィールドへ出る機会も魅力の一つです。森林ボランティアの環境フィールドスクールでは、自分が気になったことに注目して竹林の地面の様子を観察したり、ボランティアの方に質問したりと、主体的に学ぶことができました。幅広い分野の学びと魅力的な経験が得られる環境科学部で、充実した大学生活を送ってみませんか。